

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月7日			
平成15年度	事業コード	23130	電話	042-751-9140
担当部課名	消防本部	警防	課	
事務事業名	平成14年度水防演習			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざして	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

水防法及び神奈川県水防計画第15章

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県市協調事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
水害から市民の生命や財産を守るための水防工法を実施し、水防団(消防団)や防災機関の技術の向上及び水防意識の高揚を図ると共に、あわせて市民の水防に対する理解を深め、広く協力を求めることを目的とする。	市民
	対象数 62万市民
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
平成14年7月14日(日)に相模原市、神奈川県及び座間市の共催により、相模原市新戸の相模川左岸、新戸スポーツ広場において消防職団員、自主防災組織、警察及び自衛隊員など約1,000人が参加し、河川の氾濫により決壊が予想される堤防の復旧や救助、被災後の復旧作業を確認した。なお、本事業は、相模川水系、酒匂川水系の4県土木事務所が隔年で演習を実施しているため8年に1度の開催となる。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)					
				12	13	14	15	16	
	水防工法実施率	実施水防工法/水防工法	準備工法に始まり、洗掘防止、溢水防止及び都市型工法の実施、完成度の確認が行われた。			100			
	水災被害発生時の被害の軽減と動員計画	事前対策、災害対応及び避難対応	水害に対する各機関の対応と活動、被害拡大時の避難対応によるトータル的な市民の安全確保			100			

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費			4,763		
決算(予算)額			4,763		
人員・時間数			2/人・100		
人件費			416		
その他経費					
合計	#VALUE!	#VALUE!	5,179	#VALUE!	#VALUE!
特定財源	0	0	0	0	0
対象数			610		
対象の単位あたり経費	#VALUE!	#VALUE!	8.5	#VALUE!	#VALUE!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	水防活動の全容を広く市民に公開している。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	安全に暮らせる都市のまちづくりという観点から、相模原市の水防活動を市民に公開することは必要と思われる。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	開催することにより、市民からの信頼感が得られる。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	開催することにより、水防組織としての消防職団員の士気高揚が図られる。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	事前広報が充実していることに加え、入場がオープンとなっているため、市民へ平等に提供できている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 8年に1度の事業として、継続的に実施し、水防活動の必要性を広くアピールする必要があると考える。	手段	参加消防職団員の人員削減。
		削減額	200 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 地勢等からも比較はできない。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	広く市民に災害に強いまちづくりをアピールする場であり、また、伝統工法の継承からも継続の必要がある事業です。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--